

第九項 天 災 地 変

明治九年 旱魃 旱天打続くこと数十日で、稲収穫が皆無となった。

明治十七年 暴風雨あり 八月十五日暴風雨ありて、倒壊家屋すこぶる多く、浸水家屋も相当ありて、人畜の死傷もあつた。

明治二十六年二十七年 旱魃 井水はかれて汲むに水なく、稲が枯死して収穫皆無の田地ができた。

明治二十九年 洪水 八月三十日に安原地区に二七〇ミリの雨がふり香東川が増水氾濫して、未曾有の水害をこうむつた。

明治三十二年 大風 八月二十八日に大風ありて最大風速五二米を記録した。倒伏家屋も多く被害甚大であつた。

明治四十年 大雪 二月十日大雪、平野部で四七センチメートル、山間部で五四センチメートルの積雪があり、農作物に被害を与えた。

大正元年九月 大水害あり 香川町にても岩崎橋流失し、浸水水田も多く稲が倒伏して被害甚大であつた。

大正十二年九月一日 関東大震災 東京を中心とする関東地方に大震災あるも香川町には被害はなかつた。

昭和六年二月九日 大雪 積雪山間部で四七センチメートル、平地部で二七センチメートルあり、全国に被害があつた。

昭和九年 旱魃 稲作の収穫も旱害のため減収し、中には皆無の田地もあった。

昭和九年九月十二日 台風 室戸台風ありて京阪神地方に大被害あり、香川県にも倒伏家屋等があり、農作物に大被害があった。

昭和十四年 旱魃 昭和十四年夏大旱魃を受け、稲作に旱害ありて減収した。

昭和二十一年 地震 十二月二十一日南海地震により、香川県にも各所に被害があった。

昭和三十八年 長雨 六月、七月に長雨ありて、麦類・たばこ・すいか等に大被害があった。

昭和四十五年 長雨 六月に長雨ありて、麦作に大被害があった。